

J A おうみ富士自己改革の取組みについて

J A おうみ富士は次の基本目標をもとに農協改革を推し進めます。

1. 農家組合員の所得増大と農業生産の拡大
2. 総合事業による地域の活性化とくらしの支援
3. 自己改革を支えるJ A 経営基盤の確立

農産物販売事業の 新たな展開

販売力の強化

六次産業化

農産物加工施設等の企画・構想

- ・農家所得の向上と地域創生に有効な農産物加工施設やおうみんち野洲店(仮称)の企画・構想を検討します。
- ・地域食材、資源を活用した加工品開発の提案を行います。

新たな米戦略の策定

- ・食味や安全性を追及した高付加価値米や低コストと多収性を追求した業務用米(加工用米、飼料用米含)等の提案を行います。
- ・買取販売・契約栽培・JA直売枠等を拡大する、総合的な米戦略を策定し、農家所得の向上を目指します。

- ・JAおうみ富士青壮年会を中心に産米のブランド化と野菜などその他の作物へのブランド波及を進めます。

- ・担い手経営体の複合経営を支援し、経営基盤の強化に取り組みます。

生産購買事業 生産費等削減の検討

コストダウン

購買品仕入れ強化対策の検討と品目の集約化

- ・低コスト資材の開発と普及に取り組みます。
- ・的確な営農指導と組織的な予約購買を実施→「部会別・組織別共同一括自取りシステム」「予約購買システム」を検討します。

共同利用施設の機能再編等の検討

- ・カントリー・育苗作業の管理を徹底するとともに、育苗播種作業を集約化して、育苗施設の改修、修繕費用や播種作業の人件費を削減するための検討・実践を行います。

地域活性化

- ・おうみんちによるアクティブパートナーシップの強化として、准組合員や地域住民を農村(おうみんち)に招き、農業体験等を通じ、絆づくりのきっかけとします。
- ・支店・渉外係の活動により、地域の子育て世代の方々を対象に、JAファンになっていただけるような取組みを展開します。

・支店ふれあい協議会に、幅広い年代や組織の地域住民が参画することを進め、支店及びコミュニティの活性化を図ります。

経営基盤の確立

- ・准組合員の意思反映と運営参画に向けた仕組みづくり
JAへの利用拡大や理解を深めるとともに意思反映に向けた仕組みづくりを検討します。

- ・「女性の感性・活力」による活躍できる協同活動の仕組みづくり
女性正組合員の拡大や「女性の感性・活力」を協同活動に反映させる仕組みづくりを検討します。

- ・平成31年の役員改選に向けて、(仮称)JA役員体制検討委員会を設置し、担い手の経営参画など改正農協法への対応したガバナンス運営体制について検討します。